**【第250号 紙面案内】**

第2面 ……………第57回全国研究大会開催校紹介

第3面 ……………第57回全国研究大会日程

第6面 ……………国際委員会より、機関誌投稿論文募集

## 第57回全国研究大会統一論題解題

大会実行委員長 吉田 優治（千葉商科大学）

第57回全国研究大会は、6月27日（金曜日）～29日（日曜日）の3日間、「次世代経営者の育成と経営教育—企業と大学における理論と実践—」を統一論題として千葉商科大学で開催されます。

将来の「企業経営」を論じるには、「今後どのような人材をいかにして育成するか」という議論を無視することはできません。逆に、「経営教育」を論じようとするとき、「企業がどのような経営をめざすのか」を無視することもできません。こうした意味から本大会では、今後の企業経営のあり方と関連づけて人材育成や経営教育を論じることが求められるでしょう。

わが国の経済産業システムは、国際化・高齢化が進展するなか、大量生産、効率重視から個別生産、品質重視へとシフトしつつあります。企業や大学は、こうした変動に戦略的に取り組み、新たな状況を生み出すことのできる人材を育成しなければなりません。今後、企業や大学は何をどのような方法で教育し、彼らにどのような学習の機会を提供することが求められるのでしょうか。そして、どのような理論をどのように提供し、実践の状況や知恵をどのように学習させればよいのでしょうか。

特別講演者の島田晴雄氏（千葉商科大学学長）、アメリカ経営学会からの派遣報告者Jim Storer氏（Fordham University、同学会経営教育部会・元部会長）をはじめ、統一論題報告者の企業経営者（2名）と大学研究者（2名）などからの提言を手掛かりとして充実した議論が展開されることを期待したいと思います。

なお例年大会初日に企業見学を行っていますが、本大会では少し趣向を変えて千葉商科大学・丸の内サテライトキャンパス「Galleria 商.Tokyo」を会場にして「丸の内再開発を担う人材の育成」をテーマにした企画を進めています。

## 第57回全国研究大会開催校案内

## 千葉商科大学(Chiba University of Commerce)

千葉商科大学は、1928年に財団法人巣鴨学園・巣鴨高等商業高校として創立され、今年創立80周年を迎えました。創立者の文学博士・遠藤隆吉は、「大局に立ち、どんな時代でも世の中をリードしていく未来創造型の人材」を「治道家」と呼び、治道家育成を教育理念としました。1944年学校名を巣鴨経済専門学校に改称し、戦後、現在の市川市国府台に移転しました。1950年には学制改革を機に大学に昇格し千葉商科大学と改称しました。

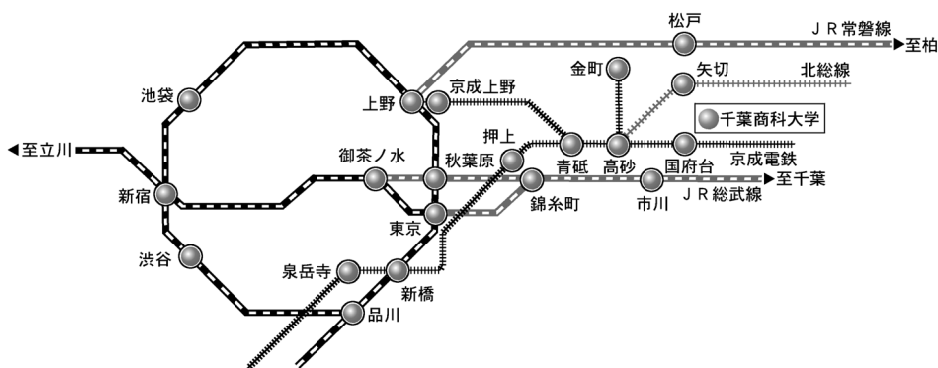
現在、学校法人千葉学園が、大学院博士課程（政策研究科）、大学院修士課程（商学研究科・経済学研究科・政策情報学研究科）、会計専門職大学院、商経学部（商学科・経済学科・経営学科）、政策情報学部（政策情報学科）、付属高等学校などを設置して、次代を担う「治道家」の育成に努力しています。

昨年3月、12年間学長として大学改革を主導してきた加藤寛前学長が退任して名誉学長となり、同年4月に就任した島田晴雄学長が、「明るく、元気で、へこたれない」人材の育成を提唱し大学改革を継続しています。現在、成熟化経済社会で多様なサービスに関わる人材の育成をめざして新学部「サービス創造学部」（2009年4月設置のための申請準備中）の企画を進めています。教育理念は「日本のサービスを変えたい」です。実際に優れたサービスを提供している実績のある公式サポーター企業数十社からの指導・支援を受けながら「学問、実践、活動から学ぶ」機会を実現したいと考えています。サービスの質を向上させるとともに、新たなサービスを創造する人材を育成することを通じて、わが国の生活や仕事における豊かさを向上させたいと考えています。

千葉商科大学 〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1

TEL:047-372-4111(代)、FAX:047-373-6881、URL:http://www.cuc.ac.jp/

## 交通アクセス



- JR総武線 市川駅（東京駅から快速で約20分）下車 徒歩約20分  
市川駅前京成バス1番のりばから松戸駅行または松戸車庫行に乗車約10分、和洋女子大前下車 徒歩3分
- 京成線 国府台駅（京成上野駅から約30分）下車 徒歩約10分
- 北総線 矢切駅（印西牧の原駅から約27分）下車 徒歩約20分  
矢切駅前京成バスのりばから市川駅行に乗車約7分 和洋女子大前下車 徒歩3分
- JR常磐線 松戸駅（柏駅から約15分）京成バス3番のりばから市川方面行に乗車約20分

## 第57回日本経営教育学会全国研究大会日程

### 統一論題

「次世代経営者の育成と経営教育 ―企業と大学における理論と実践―」

会 期：平成20年6月27日(金)～6月29日(日)  
会 場：千葉商科大学市川キャンパス（6月28・29日）  
丸の内サテライトキャンパス（6月27日）  
大会実行委員長：吉田優治（千葉商科大学）

#### 第1日目：6月27日(金)

13：00～15：00 企業見学 テーマ「丸の内再開発を担う人材の育成」  
15：30～17：30 理 事 会 千葉商科大学丸の内サテライトキャンパス

#### 第2日目：6月28日(土)

9：00～ 受 付  
9：30～ 9：40 開会挨拶  
9：40～10：20 会員総会  
10：30～15：10 統一論題1～4を予定しております。（12：20～13：20 休 憩）  
15：10～ 会長挨拶  
15：20～16：10 アメリカ経営学会からの派遣報告 Jim Stoner氏（Fordham University）  
16：30～17：40 特別講演 島田晴雄氏（千葉商科大学学長）  
18：00～20：00 懇 親 会

#### 第3日目：6月29日(日)

9：00～ 受 付  
9：30～10：10 自由論題報告  
10：20～11：40 統一論題セッション（インターンシップ） 自由論題報告  
11：40～12：30 休 憩  
12：30～13：50 統一論題セッション（サービスイノベーション） 自由論題報告  
14：00～15：20 統一論題セッション（ベンチャー・起業家育成） 自由論題報告

## 平成19年度第2回関東部会報告

清水 健太（東洋大学大学院）

平成19年度第2回関東部会が、12月15日(土)13時より東洋大学白山キャンパス2号館16階スカイホールにて開催された。

第1報告は、宣京哲氏（神奈川大学大学院）による「中国におけるコーポレート・ガバナンス原則と企業経営」であった。コメンテータは金山権氏（桜美林大学）、司会者は中村公一氏（駒澤大学）であった。宣京哲氏は、中国におけるコーポレート・ガバナンス原則を明らかにした。大変意義のある報告であった。

第2報告は、久保田潤一郎氏（富士ゼロックス／立教大学大学院）による「内部統制における倫理・コンプライアンス教育の役割」であった。コメンテータは舩富順久氏（和光大学）、司会者は谷内篤博氏（文京学院大学）であった。久保田潤一郎氏は、コンプライアンス教育の役割について明らかにした。大変意義のある報告であった。

第3報告は筆者（東洋大学大学院）による「コーポレート・ベンチャー形態の国際比較に関する研究」であった。コメンテータは海老澤栄一氏（神奈川大学）、司会者は樋口弘夫氏（和光大学）であった。筆者は、コーポレート・ベンチャー形態の国際比較について報告した。コメンテータよりいくつかの課題が指摘された。

第4報告は犬塚正智氏（創価大学）による「半導体産業における水平分業化とアライアンス戦略」であった。コメンテータは吉村孝司氏（明治大学）、司会者は小川達也氏（東京富士大学）であった。犬塚正智氏は、半導体産業における水平分業化とアライアンス戦略について明らかにした。大変意義のある報告であった。

いずれの報告においても活発な質疑応答が行なわれ、おおいに議論が展開された。部会終了後には、同会場において懇親会が盛大に開催され、日頃の交流をさらに深める貴重な機会となった。

## 平成19年度第2回関西部会報告

高田 雄司（福山大学）

平成19年度第2回関西部会が、12月1日(土)に大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）にて開催された。小椋会長にもご参加いただき、総勢20名の参加で大盛況のうちに終了した。

第1報告は、加本正則氏（アイコム株式会社）「執行役員制度の普及について（経営者育成への有用性も含め）」、第2報告は、東俊之氏（金沢工業大学）「非営利組織における変革行動に関する一考察」、第3報告は、八角憲男氏（倉敷芸術科学大学）「ブランド価値評価モデルに関する検討―バリュー・ドライバー分析を中心として―」であった。

いずれの報告にもフロアから質疑が出され、活発な議論が行われた。報告会終了後、午後5時30分から忘年会が東天紅で開催され、会員の懇親をより深めることができた。

## ◇◇関東部会開催のご案内◇◇

- 日 時：平成20年5月10日(土) 14:00~17:15
  - 場 所：成城大学3号館3階大会議室（小田急線「成城学園前」下車徒歩3分）
  - 第1報告：ブパール マン シュレスタ氏（創価大学大学院）  
「リライアンス財閥の経営形態と事業戦略 ―インド企業の一事例を通して―」  
コメンテータ：鈴木岩行氏（和光大学）  
司 会 者：小川達也氏（東京富士大学）
  - 第2報告：山崎秀雄氏（和光大学）  
「新製品開発の戦略形成プロセスに関する一考察」  
コメンテータ：安田賢憲氏（東京富士大学）  
司 会 者：中村公一氏（駒澤大学）
  - 第3報告：水尾順一氏（駿河台大学）  
「経営倫理におけるコミュニケーションの意味論に関する一考察」  
コメンテータ：石山伍夫氏（日本大学）  
司 会 者：谷内篤博氏（文京学院大学）
- ※報告：40分：コメント・質疑：15分
- 参加費：1,000円 懇親会費：1,000円
  - お問い合わせ先：関東部会長・谷内篤博（049-261-7938, yachi3jp@yahoo.co.jp）
  - 関東部会でのご報告を希望される方は、関東部会長の谷内までご連絡をください。

## ◇◇関西部会開催のご案内◇◇

- 日 時：平成20年6月14日(土) 13:30~16:45
- 場 所：関西大学百周年記念会館第3会議室（阪急千里山線関大前駅下車5分）
- 懇親会は、17時より関西大学付近のお店にて開催を予定しております。
- 部会の詳細につきましては、別途ご案内を申し上げます。
- 現在、報告者を募集しております。3名の報告者が揃い次第、募集を締め切らせていただきます。ご希望の方はお早めに、ご氏名、ご所属、ご報告テーマ（仮題でも結構です）を部会幹事までお知らせください。
- お問い合わせ先：大東正虎（daito@rcss.kansai-u.ac.jp）

## 所属・住所変更のご連絡はお忘れなく

総務委員長 柿崎 洋一（東洋大学）

所属や住所等に変更がある場合は、はがき、FAXまたは電子メールにて学会事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。変更のご連絡をいただけないと、全国研究大会のご案内や会報、機関誌等のお届けができない場合がございます。

## 国際委員会から

国際委員会委員長 吉田 優治 (千葉商科大学)

「報告者交換プログラム」に基づく2008年度アメリカ経営学会年次大会 (2008年8月8～11日) への派遣報告者は、岡田和秀氏 (専修大学) に決定しました。報告タイトルは、「Japan's Management Education in Retrospect and Prospective」です。また今年度のアメリカ経営学会経営教育部会からの派遣報告者 Jim Storner氏 (Fordham University) は、第57回全国研究大会 (6月27～29日、千葉商科大学) において「Management Education for Global Sustainability」を報告する予定です。

## 機関誌投稿論文募集

機関誌委員長 森川 信男 (青山学院大学)

現在、機関誌第11巻第2号 (5月末発行予定) の発行作業を鋭意進めています。引き続き、8月末日締め切りで機関誌第12巻第1号 (12月末発行予定) への投稿論文を募集しています。会員の皆様の積極的なご投稿をお待ちしております。なお、ジャーナル化にともなって、今回の募集から字数制限が日本語原稿では16,000字以内となるなど、投稿規程が若干変更されますが、必要最少限の変更となります。詳細は後日お知らせいたします。

機関誌投稿論文、日本経営教育学会山城賞および山城賞奨励賞のお申し込みやお問い合わせは事務局までお願いいたします。

## 平成20年度年会費の自動引き落としについて

総務委員長 柿崎 洋一 (東洋大学)

平成20年度の年会費について、郵便局自動払込み手続きがお済みの方は4月10日 (または4月25日) にご指定の口座から引き落としをさせていただきますので、残高の確認をお願いいたします。自動払込みの手続きがお済みでない方は従来どおり5月に請求させていただきます。

### 編集後記

会報250号をお届けします。機関誌がジャーナルになり、研究成果を発表する機会が増えました (年2回発刊)。会員の皆さま、積極的にご投稿ください。

樋口弘夫・杉田あけみ

発行 日本経営教育学会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-4  
株式会社山城経営研究所 (担当: 寿)  
TEL 03-3264-2100 FAX 03-3234-9988  
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp  
URL: http://www.j-keieikyoku.jp/

印刷 株式会社フジヤマ印刷 〒03-3260-3801  
E-mail: fujiyama@mx7.ttcn.ne.jp